

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 埼玉県)

- ①コールサイン : JJ2JQF
②氏名(フリガナ) : 中田 茂樹 (ナカタ シゲキ)
③年齢 : 47 歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・コンテスト …… ALL JA、6m&DOWN、フィールドデー、全市全郡 ALL ASIAN DX、WW DX など入賞多数
- ・アワード …… よみうリアワードなど多数受賞

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

「アクティブに無線を楽しむ人の声を JARL に届けます」

コンテスト、アワードやPOTAなど、アクティブにQRVしているからこそ、QSLカード転送遅延などの問題を身近に感じ、改善のための現実的な意見を出すことができます。得意分野を中心に、会員の生きた声をJARLに届けます！

社員歴1期。2度の社員総会でARRLのLoTW(Logbook of the World)のデータをJARLアワードで利用可能にすべく要望した。

個人ブログ、Twitter(現「X」)を通じてLoTWデータをJARLアワードに利用可能とする要望を募集、2022年4月1日、159名の要望をアワード委員会に提出。その後、LoTWデータ使用可能となる。

役員による不明瞭な経費の使用、選挙運動での不適切な個人情報の取り扱いについて問題提起した。



【X】



【Blog】

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 埼玉県)

- ①コールサイン : J R 1 M V A
②氏名(フリガナ) : 杉浦 孝司 (スギウラ タカシ)
③年齢 : 67歳
④職業 : なし
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

地域クラブの活動と管理

スリーデーマーチの会場等公開運用の実施、ラジオ工作教室 無線従事者取得講習会の講師 クラブ内技術講習会の企画 その他、クラブ行事の運用、実施。

DX通信 主にFT8とCWによる通信

自作

真空管に半導体による変調方式を採用した送信機的设计と製作、

真空管による差動方式による再生受信機的设计と製作

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

現在、日本のアマチュア無線家の高齢化による、次世代の後継者不足は慢性的な問題。

1, 体験運用を含む公開運用の推進

学校内にて体験運用を含む公開運用を積極的に実施しアマチュア無線をPRする必要があると考える。JARLはこれを後押しする為、文部科学省 地域の教区委員会などに働きかけ推進する必要があると考える。

2, ラジオ工作教室などによる小学生の子供たちに電波(無線)の興味(不思議、面白さ)を伝える活動

毎年、小学生高学年を対象にラジオ工作教室に参加しているが、子供たちは目を輝かして工作を楽しみます。この体験は電波(無線)の興味の引き金となっている

JARLはこれを後押しする為、費用捻出も含め、総務省(電波適正)のみならず経済産業省にも協力養成が必要と考える。

3, 登録クラブの強化

上記1, 2の実行部隊としては登録クラブの皆さんの力を借りる必要があります、これを強化する必要があります。コンテスト(個人的には私は好きですが)もいいのですが、この推進活動を評価、競わせることも必要では?と考える 又、資金と教材の援助も必要

紙QSLの転送遅延問題

会長の交代にてすぐに改善されると期待していたが、未だ改善されていない。期待していただけに残念です。

私は、早急に紙QSLの転送廃止を動き出す必要があると考える。

紙QSLカードの転送業務をやめ電子QSLの転送業務に移行。JARLは電子QSL転送のシステム管理費用を会費として徴収。転送のシステムはQSLの転送のみならず、蓄積データを活用しアワード(JARL以外も含む)発行をするなど プラスアルファの機能を持たせれば良いのではないかと考える。紙QSLの廃止は世界の潮流と考える。

局免許制度の問題点

先進国のほとんどは包括免許制度を採用しています。この制度への移行は、特にDXサーにとって長年の夢です。しかしながら、この制度を一番望んでいるのは、今では少数派である自作派のみなさんだと思えます。1台当たり5.5K円もの保障認定への出費、アマチュアの根源に流れていた、自ら作り上げる精神と楽しさを奪うものであります。

ハイパワーに対するものは、主管庁で管理を実施しても、50W以下の移動局に関してはアマチュアはアマチュアに管理をまかせ包括免許に移行すべきだと思えます。

JARLは包括免許への移行を、後押しすべきと考えます。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : JG8GZJ
②氏名(フリガナ) : 林 高広(ハヤシ タカヒロ)
③年齢 : 50歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第三級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ロケーションの良い山の上から、430MHz FMを中心に運用し、ハンディ機のための初心者ハムの交信機会を増やすようにしています。
- 神奈川県内の特別局の運用では、山岳からのUHF帯の運用を主に担当し、県内の方を中心にQSOするようにしています。
- 国内のコンテストには、電話部門を中心に参加し、ポータブル機やハンディ機という簡易的な設備で、上位を目指しています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- 神奈川県支部役員として、気軽に楽しむ無線の楽しさを広める活動をして参りましたので、より広い範囲での活動をすることで、青少年ハムが長く無線を楽しむことができる基盤を作り、短期間での退会を減らし、無線人口の減少に歯止めをかけたいと思います。
- SNS等のインターネットを使用した情報収集が当たり前になっている時代になっています。SNS発信の草の根的な小さな無線イベントも多く開催されています。私も神奈川県支部支部役員として、SNS発信のイベントや、SNSを通じての会員サポートを経験しております。より一層会員の方に喜んでいただける企画を立て、今まで以上に広い範囲に発信していきたいと思います。
- JARL会員になる意味をカード転送のためと捉える方が多数を占めていると聞いています。無料の電子QSLカードも登場する中、それだけでは会員数の減少は避けられません。まずはJARL支部からの発信で、イベントやセミナーなどをオンラインを含めて開催し、会員様への還元を第一に考えていきたいと思います。
- V,U,SHF帯の運用局が少なく、アマチュアバンドの存続が危ぶまれておりますが、そのようなバンドでの運用を積極的に行って参ります。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : JA1UMW
②氏名(フリガナ) : 小林 大輔(コバヤシ ダイスケ)
③年齢 : 36歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

最近IoT界限でも流行りのスペクトラム拡散 LoRa を保証認定により430MHzで免許取得し、活用方法など研究をしています。また、もう10年以上に渡り世間で大流行中の「Arduino」や「RaspberryPi」等のマイコン電子工作と、簡単に接続でき保証認定も不要な「D-STAR DV」のシリアル通信機能で若年者や技術趣味(メイカーズ)方面へのアピールができないか研究しています。新しい事を模索する事もあれば、支部大会などでジャンクの真空管を入手し、簡単な送信機を作ってみるなど、温故知新もアマチュア無線でしかできない楽しみです。支部イベント等の調査も兼ねつつ未来を考えるための重要な知識となります。他にも、もう6年も毎日やってる某GPSゲーム(なんとモンスターではない)と、アマチュア無線の移動運用を組み合わせた楽しみ方やPR、ゲーミフィケーション等、より幅広い手段から若年層へのアプローチ方法も模索しています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私はかれこれ10年以上に渡って、秋葉原やビッグサイト、周辺都道府県で場所で開催される「イベント」に、運営、現場、後方支援、出展者、ただの来場者、様々な立場から関わってきました。それらの経験に基づき、JARLが開催するイベントにおいて、若者やニューカマー、電気電子、科学、コンピュータなど、近しい趣味の人々にも広くアプローチする方法について検討及び改善を、実際の若者の視点で実行していけたらと考えています。

...いやまあ若者.....8年くらい前はまだ私20代だったんですがね。改善される日が来ると期待してましたが変わる事なく時だけが過ぎ...ね。

- ・JARLが開催するイベントに、より多くの方が興味を持ち、出展参加者の増加、来場参加者の増加、それに伴うアマチュア無線のPR、結果としてJARL会員の増加、につながるような現場の改善を試みます。

一昔前に比べると見るからに出展者が減っています。

イベントの来場者の多くは「出展者」を求めてやってきます。主催者ではありません。つまり出展者の現象は深刻です。コロナのせいにするのは簡単です。しかし、この傾向はコロナより前から既にあった流れです。社会情勢の変化や技術の進歩に伴い、新しいジャンク品の流入は壊滅状態で、従来のようなジャンク、不用品フリーマーケットを前提とした存続は困難であると考えられます。これは決して悪い変化ではなく、刻々と時代が進歩してきた一環です。

一方で、代表イベントであるハムフェア。無線機やアンテナを持って会場内を自由に歩き回れる大規模イベントは多くなく、電波科学に興味を持るととても素敵な場です。この場はこれからも未永く維持したい大切な基盤であります。

せめてハムフェアが同ビッグサイトで開催する他のホビーイベントと近い水準になり、より多くの潜在的な「出展者」を発掘し、多数の作品、研究成果、活動成果、が披露される「価値ある舞台」になるよう改善を試みます。

- ・JARLが参加すべきイベントについて検討、提案します。

JARL自身が開催するイベントも重要ですが、それ以上に、対外的な活動も現状行われている様子がありません。アマチュア無線と相性のよさそうな他の趣味のイベントに積極的に出展しなければ、アマチュア無線家、つまりJARL会員は増えないと考えられますが、見た事がありません。時代は刻々と変わり、趣味が多様な時代です。

以前のような「多数の利用者」を獲得したければ、こちらから行動し、PRや使い道の提案、披露しに行かなければ、アマチュア無線が大衆の視界に入る事はもうありません。子供騙しではなく、本気で遊べる仲間を探しに行きましょう。

- ・ソフトウェア開発者「も」尊重する流れが作れるよう提案します。

アマチュア無線というのは、電子回路、ハードウェア、だけで実現してきた物でしょうか？違いますよね。ログソフト、SSTV、APRS、WSJT(F8)、D-STAR、他様々な通信は、現代において全てソフトウェアがなければ成り立たない物です。ソフトウェアを自作する人のおかげで、それを使った最新の便利で高感度な通信が実現されています。しかし、日本のアマチュア無線界隈には、それら「ソフトウェア開発者」を尊重、育成する文化が全く見られません。ソフトウェアを披露できる雰囲気イベントも、ソフトウェアで参加できるコンテストもありません。あぐく、ハムフェア自作品コンテストに至っては「ソフトウェアが主体の作品は参加できません」と明記されています。

このような環境では、「日本のアマチュア無線界」の、より高性能な通信方式や便利ツールは今後も生まれず、コンピュータ社会に生まれた現代の若者やエンジニアの興味も惹けません。現代社会に合うよう改善を試みます。

- ・技術の保存、継承、に関わる活動が行えないか提案します。

近年も大手ホームページサーバの廃止、ブログ、掲示板サイトの終了、管理者の死去、等により多数のアマチュア無線技術が失われました。これは個人が自力で活動している限りどうしようもない事であり、多数の会員の会費により維持され、「永続性のあるJARL」の存在意義が発揮されるシーンであると考えます。技術継承は未来のアマチュア無線家の存続 = 未来のJARL会員につながると考えられます。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 群馬県)

- ①コールサイン : JA1AAA
- ②氏名(フリガナ) : 小林 宣夫 (コバヤシ ノボ)
- ③年齢 : 59歳
- ④職業 : 地方公務員
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士・第一級陸上無線技術士・第一級海上無線通信士・航空無線通信士

力を入れている無線活動

国内外との交信及び各種コンテストへの参加
群馬県支部が行う事業への協力支援

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARLの会員数は、7万人を大きく下回り、約6万5千人ほどに減少してしまった今日、会員数の増加の兆しがみられるものの、今後、更なる会員数の増加と組織基盤の強化を図るためには、「現会員の継続促進」や「未来を担う若年者を始めとする新規会員の獲得」は喫緊の重要課題として、会員一人一人が真摯に取り組む必要があります。

他方、JARLの経営環境に目を転じてみますと、過去の潤沢な会費収入を背景とした歴代の執行部による計画性・将来性の乏しい大盤振る舞いの大きなツケとして、近年の財務状況は悪化の一途を辿り、本来、特定の用途に使用されるべき「積立金」や「基金」が取り崩されて、名目上の収支均衡が図られてきたことは周知のとおりです。

昨年、新たな執行部が発足したことを好機として、現在の危機的な財政状況を打開するため、中長期的な「財政再建計画」を早急に策定し、経費削減はもとより、組織のスリム化等の機構改革、新たな事業創出など抜本的な財政再建に向けた施策構築が急務であると思慮されます。

私は、こうした山積する様々な課題に対処するため、より多くの会員の方々のご意見を聞き上げて、JARLの運営方針に反映させられるように行動することはもちろん、これまでと同様「どのような方策が、会員全体にとって一番有効な手立てになるのか」を常に念頭に置き、社員総会等における評決に際しましては、執行部の方針に対して「是々非々主義」で活動していきたいと考えております。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : **JI1XKH**
②氏名(フリガナ) : **増田 浩** (マスダ コウ)
③年齢 : 62歳
④職業 : 会社員 (電気通信主任技術者、ネットワークエンジニア、防災士)
⑤無線従事者資格 : 二アマ, 一陸技, 一海通, 航空通, 一アマ相当 (FCC EXTRA)

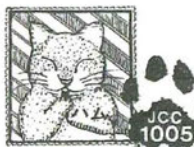
力を入れている無線活動

- ★主にCWによる国内外QSO、コンテスト参加、マイクロウェーブ・衛星通信およびキューブサット開発チーム(大学)への支援。
★JE2NRT(静岡県三島市)、JP7SRV(福島県いわき市)、AD6GA(米国)からの運用および近隣局との情報交換。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ★今回で社員5期目の立候補です。昨年6月JARL執行部体制が新しくなり、さまざまな変化が現れつつあると感じます。引き続き財政健全化、迅速な情報提供、ビギナー・自作派HAMへの組織的なサポート体制を求めてゆきながら、JARLの活性化に協力してゆきます。
★一昨年より東京都支部監査指導委員会メンバーとして活動を行っており、今後も支部活動に参加してゆきます。
★社員(会員代表の一人)として、今までのJARL社員総会においては、自らの意思で議決権を行使しています。
★私の趣味やボランティア活動の範囲ですが、電子工作・改造・リペア、ヨットレース(主に相模湾)、小型固定翼航空機操縦(主に米国)、ドローンによる空撮、天体観測、東京消防庁災害時支援ボランティアなどの活動を通じて、アマチュア無線仲間と利活用・運用・自作他さまざまな分野で意見交換、情報収集を行っています。
★地域、職域、学校クラブでの活動を中心に若年層の育成、IT人材の育成、ビギナーHAMへのサポートを行っています。また万一の非常災害時にもリグが役に立つよう、地域クラブのオンエアミーティングではキー局担当時に、バッテリーなどの点検喚起をしています。

- ☆Member of JA1YSW・JA1YTS・JA1YAK・ARRL・JAMSAT・KCJ・A1C・Team7043
総務省委嘱電波適正利用推進員・日本航空機操縦士協会・シーゴニアヨットクラブ
職業訓練指導員・日本モデルロケット協会指導講師・星空(準)案内人



TOKYO
ZONE:25

JAPAN
GL:PM95sq

JI1XKH

ご支援

よろしく願いいたします!

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : JH1OHZ
- ②氏名(フリガナ) : 片倉由一(カタクラ ヨシカズ)
- ③年齢 : 71歳
- ④職業 : 非常勤契約社員
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士、第一級陸上無線技術士

力を入れている無線活動

JARL 神奈川県支部の運営委員としての活動(技術指導委員長)

JARL 登録クラブ(地域クラブ)の役員としての活動

アマチュア無線を通じた地域社会貢献活動(アマチュア無線非常通信協議会)

青少年育成活動

電波適正利用推進員活動

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

電波障害に関する相談活動

- ①アマチュア無線局側(送信側)要因の対策
- ②被障害機器側での対策

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : **JK1FNL**
 ②氏名(フリガナ) : **小林 直行 (コバヤシ ナオユキ)**
 ③年齢 : **59歳**
 ④職業 : **会社員**
 ⑤無線従事者資格 : **第一級アマチュア無線技士 航空無線通信士
 第一級海上無線通信士 第一級陸上無線技術士**

力を入れている無線活動

- **電子工作(機器の自作)** 最近作は、2.4GHz TRV、GPS周波数標準、8入力4出力マイクセレクトなど。
- **コンテスト参加** これまでにオールJAコンテストX50M 第1位、KCJコンテスト 9年連続入賞などの実績。
- **DX** 小規模な設備で、3Y0JやTX5SともCWで交信。これまでに、6大陸37エンティティから運用経験あり。
- **初心者のサポート活動** 体験局8J1YAC、8J7YACの運用にスタッフ、オペレータとして参加。湘南ビーチFMのアマチュア無線初心者向けポッドキャスト番組制作にスタッフとして参加。ときには番組に出演。
- **書籍、記事執筆** アマチュア無線関連の著書、記事執筆多数。近年は、ニッチなテーマを書籍化して自費出版。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に) これまでの社員としての活動をまとめています。→



● **「自作」に対する危機感を持つ立場から活動し貢献します。**

自分で作った機器を用いて、数W以上の強力な電波を送信し、通信を行うことができるのは、事実上、アマチュア無線だけです。「送信機の自作」は、国の検討対象ともなった「ワイヤレス人材育成」のためにも有用な、アマチュア無線ならではの特長です。しかし、その「送信機の自作」は、近年、「免許申請に必要な費用の値上がり」「スプリアス測定記録提出が求められる場合がある」「一部保証認定機関の撤退」など、免許が受けにくくなっているように感じ、危機感を持っています。法制度改正の働きかけ等がいままで以上に必要です。

● **コンテストを積極的に楽しんでいる立場を活かして貢献します。**

コンテストは、自分の知識と技術を駆使して、たくさんの局との交信を目指す楽しいイベントです。一方で、参加局数が少なく、交信できない時間が長すぎる耐久レースとなってしまう場合も多いように感じます。

近年、1.9MHzの電話が許可されるなどで、過去の記録との継続性が途絶えたケースもあり、ルール変更の障害が減ったように思います。たとえば、電信と電話の両方を得点として認めるなど、活性化の提案を行っていきます。

● **海外運用の経験を活かして貢献します。**

これまで、37エンティティからの運用経験があります。各国から運用許可や免許を得てきた過程で、各国のアマチュア無線制度に関する理解が進みました。そのよいところを、我が国の制度にも取り入れられるように提言していくなど、経験を生かした活動を行っていきます。

● **初心者のサポート活動を活かして貢献します。**

アマチュア無線体験局の活動に参加した経験から、「アマチュア無線には魅力がない」のではなく、「知られていない」ことを痛感しました。若い世代にとっただけでなく、年配者に対しても、「知的な大人の趣味」の側面を、大いにアピールする必要があると感じました。そのようなこともあり、アマチュア無線初心者向けポッドキャスト番組に制作スタッフとして参加しています。これらの経験を活かし、アマチュア無線の裾野を広げる活動を通じて貢献できます。

● **書籍、記事執筆の経験を活かして貢献します。**

これまでに、アマチュア無線関連書を何冊か、商業出版することができました。また、アマチュア無線専門誌にとどまらず、インターネットやSFの専門誌も含め、約200本のアマチュア無線記事を執筆してきました。

これらは、「自分が先輩諸氏より受け継いだ」、あるいは「技術の進歩によりアマチュア無線の世界に新しく登場してきた」楽しみを、多くの仲間と共有していきたいという思いからでした。情報共有のために、昨年の社員総会についても、Webにて、詳細な報告を行いました(QRコードからアクセスできます)。このように、情報発信に貢献できます。

● **しがらみや忖度のない公平な視点で貢献します。**

地方本部区域毎社員の定数

私は、JARL登録地域クラブに所属しておらず、支部活動の経験もありません。しかし、アマチュア無線のジャンルごとのコミュニティや、SNSを通じて、日本全国のアマチュア無線仲間と広くコミュニケーションをとってきました。

2年前に社員として選んでいただくまで、JARLの活動に積極的に携わっていなかったことが、逆に新しい視点で「JARLとアマチュア無線にとってプラスになる活動」につながるものと考えます。

たとえば、JARLの定款に反した社員定数の不公平が長年放置されていることは、不思議でなりません。1エリアの正員だけ、「社員を選挙する権利」が、他エリアの正員の2/3しかないのです。私が理解できない、何らかのしがらみや忖度があるのでしょうか。正常化に貢献していきます。

エリア	R5年3月の 正員数	比率	比率による 定員数	現在の 定員数	過不足
1	20,008	37.7%	31.7	20	-11.7
2	6,610	12.5%	10.5	12	1.5
3	7,026	13.2%	11.1	12	0.9
4	3,167	6.0%	5.0	8	3.0
5	1,709	3.2%	2.7	4	1.3
6	4,071	7.7%	6.4	8	1.6
7	4,085	7.7%	6.5	8	1.5
8	2,578	4.9%	4.1	4	-0.1
9	1,323	2.5%	2.1	4	1.9
0	2,512	4.7%	4.0	4	0.0
全国	53,089	100%	84	84	

<https://www.dxers.net/jarl-related-activities/> もご参照ください(上記QRコードでもアクセスできます)。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名		東京都
①コールサイン	:	J O 1 E U J
②氏名(フリガナ)	:	タカハシ トシミツ 高橋 俊光
③年齢	:	59歳
④職業	:	会社員(ASIC設計技術)
⑤無線従事者資格	:	第一級アマチュア無線技士
力を入れている無線活動		
<ol style="list-style-type: none"> 1 小型アンテナ(短縮ダイポール)でHF帯での運用 2 JARL4大コンテストには1時間、30分でも参加する。 3 狭帯域デジタル各方式の啓蒙 4 楽しみ方は人それぞれ。お互いの楽しみ方を尊重する。 		
JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)		
<ol style="list-style-type: none"> 1 総務省へのアマチュア局関連規則、告示、審査基準改正陳情の原案作成。 昨年3月、9月の関連規則、告示、審査基準改正は画期的でしたが、 (無線従事者資格の範囲内ならば、空中線電力200ワット以下なら、使用する送信機を 工事設計書に記載し、総合通信局に到達後受理されたらOK。200ワット超は落成検査 に合格する必要が在る) これをさらに進化させ、まずは「空中線電力200ワット以下なら工事設計書の廃止」を 目指したいところです。 2 「アマチュア無線でしかできないこと」の創造の提案。 ここ数年の規則改正で、アマチュア業務の定義に「社会貢献条項」が加わったけど、 「社会貢献目的で無線機を使いたい方」の目線では「特定小電力やデジタルコミュニテ ィ無線、デジタル簡易無線で十分だよ」と言う方は、アマチュア無線技士の免許取得 とアマチュア局の開設はしないし、当然JARLにも入会しないです。 他にも同様の例は有るでしょう。 「アマチュア無線でしか出来ないこと」と「そのアマチュア無線でしかできないこと の楽しさ」さらに「JARLに入会することの利点」のPRが必要です。 その素案作成に協力します。 3 JARLに入会するメリットの提案 「年会費に対する費用対効果」を要求されますが、JARLは日本のアマチュア無線家 を代表する一般社団法人ですから、総務省との折衝や問題運用撲滅などは目に見え る活動が必要です。考えを同じくする社員と一緒に活動内容を提案していきます。 		

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : JA1RTJ
②氏名(フリガナ) : 目下照朗 (クサカテロ)
③年齢 : 75才
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

1日1局を目標に QRV を続けています。
海外を含め少なくとも1か月に1回の移動運用中です。
主に UHF で1エリア会員各局と QSO しています。
あわせて北米 欧州との QSO が多く民間外交もどきの QSO をしています。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1エリア会員各局の要望意見を反映すべく
代弁者に徹して活動しています。
今までに単独要望 社員各局を含めての
要望の内お取り上げ頂いた事案として

- 1) 東南アジアで操業の漁船からの混信対応
- 2) D-STAR で海外レピーターとの容易な接続
リフレクターとの使い勝手の向上の要望
- 3) 委員会議事録の公表要望
- 4) 総会 オンライン中継の要望
- 5) NYP の参加しやすい規約の変更要望
- 6) JARL 版電子 QSL カードの設立の要望

これからも1エリア会員各局に寄り添って
活動を続けて参りたいと思います。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)

- ①コールサイン : **JI1RKA**
②氏名(フリガナ) : **板橋直樹(イタバシナオキ)**
③年齢 : **35歳(1988/6/1 電波の日生まれ)**
④職業 : **会社員(コンピュータプログラマ)**
⑤無線従事者資格 : **第2級アマチュア無線技士/第2級陸上特殊無線技士**

力を入れている無線活動 私が力を入れている無線活動は2つです!

1:リモート shackでのFT8運用

川崎・八王子の2箇所に設置した「移動しない局」から、7MHz帯～1200MHz帯のFT8運用に力を入れています。リモート shackの構築に関しても、秋葉原無線部様「もえれとりくす Vol.1～2」で構築術について寄稿しています。

2:ファクシミリモードの普及

開局した2016年1月より、アマチュアファクシミリ愛好家のグループである「ファクシミリ・クラブ」に加入し、活動しています。昨年は純日本製としては初のアマチュアファクシミリ送信ソフトを開発・リリースし、hamlife.jpに取り上げて頂きました。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に) **若い世代の声を生かせるJARLへ!**

「JARLは会員・非会員問わず日本全てのアマチュア無線家の為の組織である」との信念に基づき、前回選挙で初当選してから特に若い世代の意見を反映出来る様活動して参りました。1期目の実績と2期目の方針をお伝えします。

・ハムフェアのYouTube配信スタッフ(チーフ)として貢献

昨年のハムフェアから始まった、メインステージのYouTube Live担当スタッフのチーフとして活動し、遠方のアマチュア無線家にも大変好評を頂きました。今後も引き続き、澤田実行委員長と共に、YouTube Liveの配信を中心としてハムフェアのスタッフとして活動して参ります。

・経費削減に貢献

ハムフェアに掛かる経費(会場費だけで3日間で約1200万円)を圧縮する様、2023年の社員総会で提案した結果、開催場所が変更となり、約300万円の経費削減を行う足掛かりとなりました。今後も、黒字化・効果的な予算配分等の提案を行って参ります。

・若い世代へのアプローチに向けた広報戦略の模索と提案

2023年総会に提出した準備書面をベースに、若い世代へアマチュア無線をどの様にアプローチすべきか皆様の意見をお伺い模索します。特に、コミックマーケットでは多くの参加者がアマチュア無線を運用し、その後ブースにてアイボールすると言った良い循環が生まれており、それを生かす為の提案を考えて参ります。

・QSLカード問題の改善提案(「地域別ビューロー」の提案・「お試し会員」に向けた提案)

QSLカードの転送に関する問題に対処する為、QSLビューローを地域毎に分割し、各地域ビューローにQSLカードを発送する事で、「島根一極集中」を防ぐ提案を行いました。また、現在のQSLカードの遅延状況から、お試し会員が期間内にQSLカードを受け取れない可能性が高い為、期間内に受け取れる様、改善を引き続き求めて参ります。

・国会議員に対する陳情、総務省に対する働き掛けを実施

JARLが本来実施すべき活動として、アマチュア無線を取り巻く規制の緩和や、違法無線の取り締まり強化等の総務省への要請する事や、国会議員へ陳情する事が挙げられます。今迄社員活動の一環として実施して来た陳情活動の中で構築した国会議員等とのネットワークをJARLが実施する要請・陳情活動に生かして参ります。

会長が変わった今だからこそ、今度は社員も変わらなければなりません。35歳、まだまだ若い世代だからこそやれる、若い世代しか出来ない事も多くございます。是非、皆様お一人お一人のお力添えで、引き続き社員としての任務に当たらせて下さい。

推薦者:JA1LVB(元JARL理事)他7名
陳情活動は友人の鈴木あつし衆議院議員等と協力して行います。

引き続き、是非「**JI1RKA**」を社員総会の場に送って下さい!

X(Twitter):@JI1RKA_Lab Web:https://senkyoji1rka.radio (詳細はQRより→)
mail:ji1rkafax@gmail.com FB:https://www.facebook.com/naoki.itabashi.52



令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 埼玉)

- ①コールサイン : J E 1 Q J E
②氏名(フリガナ) : 加藤 勇一 (カトウユウイチ)
③年齢 : 66
④職業 : 地域ボランティア
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ① 移動運用が主体であるため、移動に適したアンテナや電源など周辺機器の研究・製作実験や運用の好適地探索などに実際の移動運用をとおして実施しています。
② 所属の地域クラブ局で実施されている、受験講習講師や体験局運用などの若年ハム育成活動協力を力注いでいます。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

日頃の地道なQSOやその他の交流をとおして得た、JARLのような「大組織」には届きにくい小さな声、JARLに対する希望や不満に思う点(いわゆる「巷の声」)をささやかながらにも進言できるのではないか、そのように務めていきたいと思えます

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 神奈川県)	
①コールサイン	: JL1JAH
②氏名(フリガナ)	: 野口誠之(ノグチマサユキ)
③年齢	: 58歳
④職業	: 自営業
⑤無線従事者資格	: 第一級アマチュア無線技士
力を入れている無線活動	
<p>HF～430MHz帯のPhone及びHF帯のFT-8等を中心にオンエア 理科や電気に興味を持ってもらうために、主に小学生向けに電子工作教室を年1～2回ほど実施し、 延べの受講者は既に1,000人を超えている。 東京港区内で親子アマチュア無線体験として体験局運用を実施、予約制であったため、10組限定で あったが、アマチュア無線の楽しさを伝授した。 JARL本部、東京都支部の活動に参加し、会員として意見を述べさせていただいた。</p>	
JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)	
<p>JARLに対してできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハムフェアの改革 出展費用が非常に高いこと、入場料の女性無料など、お金にまつわることが非常に多いです。 (女性の無料化は2024年は撤廃されました→ここは意見を出しました。) それでも、毎年赤字となっているハムフェアを出展者目線で値下げし、さらにJARL目線で効率 化、低コスト化を行います。まずは出展申し込みや説明会のオンライン化など、人件費のかかると ころから着手します。(会場については、2024年の移転でおおよそ半額になっています。→ここは 意見を出しました。) ・若者育成、体験局運用 電気に興味を持てる工作教室を定期的で開催します。参加いただける方は小学校中学年位が多 いますが、10年先のアマチュア無線家を育てるための先行投資です。体験局イベントを年間数回 レベルで開催し、無線に対する興味を持ってもらえるようにします。また、体験運用の機会を増や すために、体験局運用を実施した経験のない方向けにガイドを行います。 ・カムバックハムの支援 いろいろな場所でアマチュア無線の話になると「昔やっていた」という方に遭遇します。 復活したいと希望される方も多くいますが、長年の間に電波法の改正やバンドプランの変更、スプ リアス認定制度など、法的に変わったもの、手順が変わったものなどが多数あり、すぐに復帰でき ない方も多数います。(スプリアス認定されない機種をお持ちの方もいます。) これらの方が復帰の途中で挫折をしないように、支援をしていきます。 ・ハムの終活支援 JARL会員の層が70歳代が中心となっている中、ハムの終活というテーマも重要という認識をして います。アマチュア無線家が亡くなった後のたくさんの機械は、無線をやっていない家族にとつて は迷惑なものです。タワーやルーフタワーはメンテナンスされなければいずれ倒壊等の危険が伴 うものであり、アマチュア無線家のタワーが倒れて隣家に被害をもたらすというニュースが流れて しまつては、アマチュア無線家の肩身が狭くなります。アマチュア無線の終活を皆さんと共に考え、 支援していきます。 ・JARL NEWS問題、QSLカード問題 JARL NEWSが読まれない、不要論すらありますが、会員誌としての使命はあります。まずは希 望者への電子配布(紙印刷の削減)から始め、将来的に完全電子化の流れを作りたいと思いま す。点字JARL NEWSのように社会的貢献のある事業については、その数等を把握しながら進め たいと思います。 QSLカードの遅延問題と電子QSLへの布石については一緒に進めなければならない問題と認識 しています。JARLとして電子QSLをどう扱うのか見当を早急にすすめ、並行して遅延しているカー ドの問題を考えていきます。 	

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)

- ①コールサイン : J A 1 M U Y
 ②氏名(フリガナ) : 仙石 康信(センゴク ヤスノブ)
 ③年齢 : 60歳
 ④職業 : 会社役員
 ⑤無線従事者資格 :

力を入れている無線活動 2011年に起きた東日本大震災、その揺れの激しさと被害の大きさに衝撃を受け心が苦しくなりました。自然災害はとても恐ろしいことに気付き、私しにも何かできる事がないか考えた結果、それまで仕事で休んでいたアマチュア無線を再開局することになりました。現在は、多摩地域を中心に一般のイベントに参加したり、減災や防災訓練を通じてアマチュア無線の必要性と大切さを伝えております。また、地域の無線家に呼びかけて、災害時にどのように無線で協力できるか?どのように対応したらよいか?など防災の専門家などの意見を聞きながら通信ネットワークの構築を進めております。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

3期6年間のご支援に感謝申し上げます。社員総会では会員皆様の声をもとに毎年質問をしております。皆様の声を届けることによってJARLに貢献いたします。

現在、東京都支部にて、事務局・防災対策委員を兼任しております。令和6年能登半島地震でも、発災直後に防災対策委員会の非常通信実施要領に基づき、V/UHFシンプレックス・八王子レピータなど問題なく通信できる事を確認して受信体制に入りました。引き続き東京都支部の事務局・防災対策委員を続けることによりJARLに貢献いたします。

また、アマチュア無線講習会の管理責任者を努めながら、会員増強にも力を入れることによりJARLに貢献いたします。

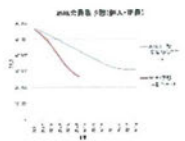
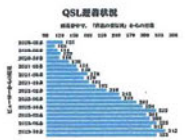
●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 **東京都**)

- ①コールサイン : **JJ1WTL**
 ②氏名(フリガナ) : **本林 良太 (モトバヤシ リョウタ)**
 ③年齢 : **59**
 ④職業 : **団体職員**
 ⑤無線従事者資格 : **第一級総合無線通信士**

力を入れている無線活動

- ・ 記念局ハンティング … 情報収集～展開～整理
- ・ SOTA … 初アクティベイト： 戸隠 西岳, 松本 黒沢山, 木曾 台ヶ峰 ほか
- ・ POTA … アクティベーター支援
- ・ CW運用 … ローカルコンテスト (オールJA1・東京CW) , 7MHz JCC/JCG
- ・ RF全般 … マイクロ波ルート探索, 短波帯デジタル固定局 実験試験局特定

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)



- 記録～会員各位への報告
 - ・ 社員総会・アイボールパーティ・アイボールミーティング (12月)
 - ・ 東京都支部大会 など (8月)
- データ分析
 - ・ 資格取得者数・局数・コールサイン進捗
 - ・ 会員数・経営スコア・QSL遅着状況 の推移 など
- 法令解説・制度推移調査
 - ・ パブコメ募集時・改正時の絵解き, 改正経緯
 - ・ WRC速報, 無線通信規則の改正経緯
- 総務省などへの要望事項のまとめ
 - ・ 社員総会での提起事項の類型化
 - ・ 制度解釈の海外比での相違 (例：第三者通信)
- 正常化
 - ・ 過去例①：局免切れ正員 (定款違反) の解消
 - ・ 過去例②：不適切な支出の解消
- 組織運営 支援
 - ・ 中期経営計画・パーパスの策定
 - ・ トランスフォーメーション
- インターネット活用/運用・サイバーセキュリティ 支援
 - ・ ネットワークスペシャリスト・応用情報技術者
 - ・ 情報処理安全確保支援士・CISSP
- ほか

<http://motobayashi.net/senkyo/>

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関東)

<p>●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 東京都)</p>	
①コールサイン	: JO1LDY
②氏名(フリガナ)	: 黒木重弘(クロキ シゲヒロ)
③年齢	: 57歳
④職業	: 会社員
⑤無線従事者資格	: 第2級アマチュア無線技士相当(FCC免許ベース)
<p>力を入れている無線活動</p>	
<p>1. 青少年育成 2. アマチュア衛星通信の普及活動 3. 非常通信</p>	
<p>JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)</p>	
<p>1. 青少年活動は JARL 東京都支部の青少年科学担当の役員として、アマチュア無線の楽しみ、電波の不思議、アンテナの工作などを含めアマチュア無線の普及活動を色々なイベントで実施しております。これを継続して実施したいと思います。</p> <p>2. 衛星通信は JARL において精通されている方が極めて少ない分野だと思います。JARL はアマチュア衛星の周波数調整の書類を行う組織でもありますし、アマチュア無線の中継を搭載した衛星の管理も行っております。宇宙という分野は青少年育成の中で必ず出てくる分野でもあります。未来の子供たちへの宇宙へのロマンを少しでも伝えるお手伝いが出来ればと思っております。</p> <p>3. 東日本大震災においては JA1RL にほぼ毎日会社の後に立ち寄り、非常通信に参加いたしました。また、このような関係から、TEAM7043 全国非常通信のためのロールコールに JR1ZEF 文京区アマチュア無線局災害時非常通信連絡会のメンバーとして、また TEAM7043 の関係者としても参画しておりますので、非常通信に関するお手伝いも出来ると思っております。</p>	
<p>JARL 東京都支部 副支部長 兼 青少年科学対策委員長 JARL 体験運用推進・ニューカマー支援委員会 委員 JA1RL 運用委員会 委員 JAMSAT(NPO 法人 日本アマチュア衛星協会) 監事 JR1ZEF 文京区アマチュア無線局災害時非常通信連絡会 会員 KCJ 全国 CW 同好会 会員 TEAM7043 全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体 副代表</p>	